

令和3年度予算を可決しました!

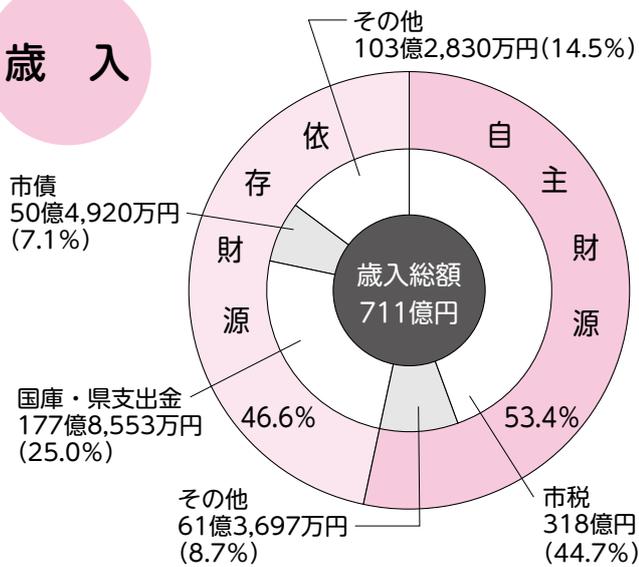
総額1,411億3,200万円

一般会計

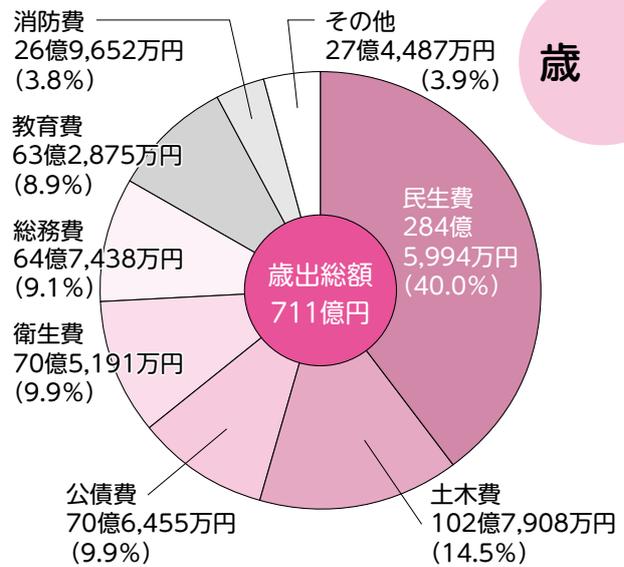
一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較増減	増減率
711億円	720億6,000万円	△9億6,000万円	△1.3%

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 令和3年度の予算編成に当たり、どのような点に留意したのか。

答 新型コロナウイルスの感染拡大により、市民生活や事業者の経営に多大な影響が出ている中においても、市政運営を継続して推進することが重要と考えている。このことから、令和3年度予算においては、新型コロナウイルスに打ちかち、産業を元気にする施策をはじめ、市民の健康や安全・安心の確保、スポーツを活用したまちづくり、ICTの活用などの視点から、進めるべき事業に必要な予算を措置した。本予算に基づき、静岡県東部における雄都沼津を実現するため、市民や議会と連携しながら各種施策に取

り組んでいく。

問 新型コロナウイルス感染症に係る固定資産税の軽減措置の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入が減少した中小企業者等の税負担を軽減するため、保有する家屋や設備の固定資産税を、令和3年度に限り軽減するものである。具体的には、令和2年2月から10月までの任意の連続する3か月間の事業収入が、前年同時期と比べ、50%以上減少した場合は全額軽減、減少幅が30%以上50%未満の場合は2分の1軽減とするものである。

問 新しい働き方応援事業の

内容と効果は。

答 新しい生活様式に対応した働き方を推進することを目的に、市内企業を対象に、テレワーク等のデジタル技術を活用した働き方改革やウェブ面接等による人材確保の強化に関するセミナー等を開催するとともに、専門家をアドバイザーとして派遣し、企業に適した導入プランや運用プランの構築などの実践に向けたコンサルティング支援を実施するものである。これにより、魅力ある就業環境の整備を図り、地域経済を支える多様な人材の確保につなげていく。

問 総合的治水対策整備事業の主な内容は。

答 常襲浸水地域の浸水被害

の低減を図るため、沼川高橋川流域地区においては、高橋川の支流である井戸川雨水貯留池の整備に向け、残り1件の用地取得を進めた後、工事用道路の整備を、大平地区では、大平江川排水機場の躯体工事をそれぞれ実施するものである。

問 学校給食費の公会計化により期待される効果は。

答 これまで教職員が行ってきた保護者からの学校給食費の徴収や滞納整理の業務を市が実施することにより、教職員の負担軽減が図られ、授業内容の充実に向けた準備や研究、児童生徒に向き合う時間を確保することができ、よりよい教育環境の構築が図られる。